

2020年5月18日

実践女子大学がWEB就職相談 コロナ禍対応、22日から動画配信も

実践女子大学と実践女子大学短期大学部（東京都日野市、城島栄一郎学長）は、WEBによるオンライン就職相談サービスを4月から提供しています。新型コロナウイルス感染（コロナ禍）の予防や学生の利便性向上の一環で、学生が自宅に居ながら就職相談を受けられるようにしました。

就職支援講座のオンデマンド動画配信も、5月22日からスタートさせます。

オンライン就職相談サービスは、学生総合支援センターキャリア・生活支援課が本学の大学4年生と短大2年生を対象に4月6日から開始しました。キャリアコンサルタントの国家資格を持つキャリアアドバイザーが、ビデオ会議システムを使い、就職活動に関する学生の相談に対応。4月末までに延べ200人以上の学生が利用しています。（※1）

コロナ禍で就職活動（就活）が思うように進まない学生の不安解消や、円滑な就活の実現に向けたきめ細かいフォローに役立てるのが狙いです。相談受け付けは、平日の午前10時から午後4時まで。学生1人平均約30分間の相談時間を利用して、エントリーシートなどの書類添削や面接練習などもマンツーマン指導で行っています。

また、渋谷キャンパスでは相談件数が多いため、5月15日から相談員に大学職員も加えました。キャリアアドバイザーと大学職員の二本立ての相談体制を敷き、オンライン就職相談対応を強化します。（※2）

他方、就職支援講座のオンデマンド動画配信も5月22日から開始します。本学の大学3年生と短大1年生が対象で、インターンシップや筆記試験の各対策などを行います。これにより、就活の準備を行う学生に必要な支援を「いつでも、どこでも、必要な時に提供できる環境」を整えます。（※3）

コロナ禍の影響による日本経済の停滞が、今後の企業の採用活動にどの程度影響を与えるのかについて、学生の皆さんは多くの不安を抱えています。本学の学生総合支援センターキャリア・生活支援課は、学生一人ひとりに寄り添う支援を一層強化し、ICTを活用したより利便性の高いサービスを充実させていきます。

【補足】

（※1） キャリアアドバイザー

キャリアコンサルタントは、本学の日野キャンパス（東京都日野市）と渋谷キャンパス（同渋谷区）に、それぞれ3人ずつ配置しました。3日に1度、3人のうち1人が終日、各キャンパスの学生の相談に応じています。

（※2） 相談体制の強化

キャリアアドバイザー1人による相談能力は、1日当たり最大で7件です。これまでは日野と渋谷の各キャンパスで、それぞれ1人のキャリアアドバイザーが終日相談に対応してきたため、1日最大でも14人の学生の相談しか受け付けることができませんでした。

相談件数の多い渋谷キャンパスでは、15日から大学職員も相談員に加わることで、1日当たりの相談能力はキャリアアドバイザー、大学職員の2人体制に強化され、倍増します。大学職員の空き時間にもよりますが、両キャンパスで1日当たり学生20人以上の相談を受け付ける体制の実現を目指しています。

（※3） オンデマンド動画配信

就職支援講座のオンデマンド動画配信は、民間のクラウド型の教育支援サービス「manaba」により提供します。放映時間は1本当たり20～30分間です。「就職ガイダンス」「インターンシップ準備講座」「応募書類の書き方」「マナー講座」（いずれも仮称）などのコンテンツのアップを予定しています。

閲覧可能な動画数は、22日のスタート時は5本程度ですが、今後月10本のペースで増やす計画です。コンテンツは、外注による制作に加えて、このうち1～2割を職員が自作する予定です。

■プレスリリースや本件の取材に関するお問合せ

学校法人 実践女子学園 〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1

• 経営企画部広報課 E-mail: koho-ml@jissen.ac.jp